



おわりに

子どもは、大人との関わり・子ども同士との関わり・環境の織り成す世界の中で発達していきます。子どもの育ちに関わる大人には、子どもをみる力、育ちを想像する力、関わる力が必要です。1人の持つ専門性も大切ですが、子どもが育つ環境にいる大人が多様な視点で連携しながらその子の育ちに関わる事が必要なのではないかと思います。

そだちサポート勉強会が始まって3年が経つのだと思うと時間の早さに驚きます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って多くの変化があり、実感のないままに時間がたったように感じることも多い中、この勉強会はオンラインの強みを生かして着実に広がりを見せ、実践を積み重ねてきました。自分が考えた事、発言した事、メンバーが考えて発信してくれた事やその時のメンバーの表情、それを通して自分が感じた事、それらはいずれも私たちの実体験です。この体験が、次に子どもに関わるエネルギーを満たし、支援の引き出しを増やすことにつながっているように思います。かくゆう私も、そだちサポート勉強会に参加すると、インシデント・プロセス法で広がる解決の糸口、参加者の皆さんの子どもへの想いにいつもたくさんのエネルギーをもらっています。

最後に、子どもの育ちのために、そこに関わる支援者のメンタルヘルスや支援の質の向上の為に「遠隔で繋がる」新たなシステムを構築し、丁寧な運営で皆をつなげてくださいました奄美地区障がい者等基幹相談支援センター「ぴあリンク奄美」大津センター長、福崎氏に心より感謝します。また、一緒に勉強会を続けて来た皆さんのおおらかさや明るさがこの会の繋がりのおかげにとっても大切だったと思います。私たちも仲間に入れていただきありがとうございます。子どものこれからの為に一緒に学びを深めてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

2023年 9月1日

鹿児島大学 障害学生支援センター

特任助教 今村 智佳子

【共同編集 略歴】

高橋 佳代

臨床心理士・公認心理士

【現職】

鹿児島大学大学院
臨床心理学研究科
准教授

【略歴】

2015年から鹿児島大学大学院臨床心理学研究科（専門職大学院）に着任（講師）。2017年より現職。専門は臨床心理学。発達支援、育児支援、支援者支援に取り組む。

そだちサポートプロジェクトとして、地域の発達支援関係機関と共同で、地域の中での発達支援に取り組んでいる。

2019年度より、奄美地区障がい者等基幹相談支援センターと共同での取り組みを開始。

今村 智佳子

臨床心理士・公認心理士

【現職】

鹿児島大学
障害学生支援センター
特任助教

【略歴】

2014年から鹿児島大学障害学生支援センターに着任。現職。専門は臨床心理学。障害学生支援、発達支援、育児支援に取り組む。

そだちサポートプロジェクトとして、地域の発達支援関係機関と共同で、地域の中での発達支援に取り組んでいる。

2019年度より、奄美地区障がい者等基幹相談支援センターと共同での取り組みを開始。

奄美地区障がい者等 基幹相談支援センター （ぴあリンク奄美）

2013年4月開設。2018年4月より、現体制。

奄美大島内の5市町村より委託を受け、地域の障がいに関する相談をワンストップで受け付け、対応を行っている。

奄美地区地域自立支援協議会の事務局も兼任しており、2019年度より、鹿児島大学心理系教員グループと共に、「そだちサポートプロジェクト」を立ち上げ、事務局として、地域の支援者に向けたオンラインの勉強会や研修会の企画・運営を行っている。

○事例について

※「インシデント・プロセス法」を用いた事例検討会は、実際に参加していただくことで、批判されない安心感や一問一答でのアセスメントのテンポ感、ひとつのケースについてすべての参加者が一緒に考えていくチーム感などをより感じることができます。

※「取組事例まとめ」は、あくまでも、「そだちサポート勉強会」第1期において、行われた事例検討の取り組みをまとめたものです。（より効果的な支援方法を提案しているものではありません）

※実際に参加された方たちは、以前の取り組みを振り返るツールとして、それ以外の方たちは、「いろんな視点や自分が行っている支援との同期や違いに気づく」「自分以外の人の考え方を知る」など、ヒントを得るためのツールとしてご活用ください。